

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 研究課題名                               | 組織学的に確定された子宮体癌339症例の子宮頸部細胞診SP標本の後方視的検討   |
| 研究機関名                               | 武蔵野赤十字病院   |
| 研究責任者                               | 所属 病理部 氏名 宅見智晴   |
| 研究期間                                | 臨床研究倫理審査承認日 ～ 2025 年12月  |
| 研究の意義・目的                            | 子宮頸部細胞診標本上に出現する子宮体癌由来細胞について液状化細胞診（LBC）を用いた多数症例を対象とした研究はない。この研究により細胞形態の特徴を明らかにし、術前に子宮頸部原発か子宮内膜原発か推定できることや子宮体癌が疑われていない状態（健診など）でも子宮内膜癌を推定できるようにすることを目的とする。これは患者様にとっても有用なことと考える。 |
| 研究の方法<br>(対象期間含む)                   | データ抽出対象期間：2015年1月～2024年12月<br>研究期間：臨床研究倫理審査承認日～2025年12月<br>予定対象者数：339人（339症例標本）<br>細胞診検査結果および組織診断結果（2015年1月～2024年12月：339症例）を後方視的に再鏡検し、子宮頸部標本中にみられる子宮体癌の細胞形態を明らかにする。          |
| ①試料・情報の利用<br>目的および利用方法              | ①保管されている細胞診標本<br>後方視的に再鏡検し、子宮頸部標本中にみられる子宮体癌の細胞形態を明らかにする。   |
| ②利用し、又は提供する<br>試料・情報の項目             | ②作製済の保管標本  |
| ③試料・情報の取得<br>の方法                    | ③保管標本の再鏡検  |
| ④利用する者の範囲                           | ④武蔵野赤十字病院 研究責任者、研究分担者  |
| ⑤試料・情報の管理<br>について責任を有する<br>者の氏名又は名称 | ⑤武蔵野赤十字病院 病理部 宅見智晴ならびに<br>武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之   |
| 問合せ先                                | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ<br><br>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1<br>武蔵野赤十字病院<br>所属 病理部 氏名 宅見智晴<br><br>TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525                        |

